

I r i s

トピックス

- Road to Doctor …… P 2
- 東日本大震災 FW に参加して …… P 3



石巻市
震災遺構
大川小学校

医師からの メッセージ

名南病院内科 高木万起子



みなさん、こんにちは。名南病院で内科医として働いている高木万起子です。

今年の夏も大変暑かったですが、みなさんはいかが過ごされたでしょうか。

今年も名南病院には高校生の方々が見学に来られました。

みな医師になる目標をしっかり持ってキラキラ輝いているなあ、と私の方が励まされました。

そんな私はと言うと、高校生の時は医療系の道に進むとは露ほども思っていませんでした。気が小さく血を見るだけで倒れてしまうタイプだったこと、またコンピューターが好きで工学部に進みたいと思っていたからです。ところが念願の工学部に合格したのも束の間、家族の意向で薬学部に進むことになり卒業後は一般企業に就職しました。医療とは関係

ない仕事をしたいと思って入った会社でしたが、皮肉にも与えられた仕事が皮膚科学に関するものでした。学会発表や論文投稿の機会もいただき、医学的な知識の必要性を実感するようになり再受験を決意、33歳で医師となりました。

ではなぜ民医連に就職したのか。漠然と皮膚科医を目指していましたが、恩師から「救急はできなあかん。」と言われ、民医連の研修なら救急を含む幅広い研修が可能であったこと、また在学中に出産し小さな子どもがいたことも大きかったです。

初期研修後は内科医になり今日に至ります。医師になるまでの不安、医師になってからの悩みも人並にあつたと思いますが、マイペースでつつがなく仕事を続けてこられたのも民医連にいたからではないかと思っています。小さかった子どもは今年社会人となり、私も新たな一步を踏み出しました。学生さんや若い先生方から色々な知識をもらいながら、これからも日々精進していけたらと思っています。